

群マネの実施方針(広島県三原市)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「道路・河川・公園の業務プロセスを束ね、官民でDX多分野連携を図りインフラ維持管理を効率化させる」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

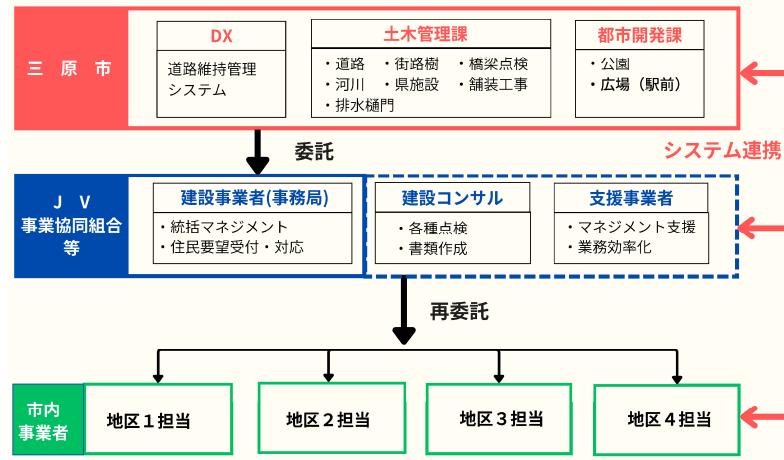
業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路		巡回点検 補修 清掃 除草 植栽 付帯設備 県施設		橋梁		舗装
河川		補修 清掃 除草 土砂回収				
公園		植栽		遊具		
広場		補修 植栽				
下水道						

① R8年度中旬～(三原市)

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 (有)(2年半程度)・無
- 性能規定の導入 (有)(維持作業業務等)・無

(2) 自治体の束



- 地方自治法上の共同処理制度の適用: 有 (無)
- 連携協力道路制度の活用: 有 (無)

(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

- ⇒ * 民間事業者を招いた包括業務や新技術に係る意見交換会を開催し、市内の官民技術者の技術力向上を図る。
- * 先進自治体への視察を実施し、他市技術者のノウハウを習得する。

② データ連携の具体メニュー

- ⇒ * 発注者・受注者間で、道路・河川・公園の維持管理情報の共有が図れるよう、一元化されたシステムを活用予定。
- * 維持管理情報の蓄積・見える化・分析を行い、情報の利活用を図る。